

令和6年度 第2回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和6年（2024年）11月21日（火）14:00～15:00

場 所：飯山市ふるさと館 体験室

出席者：青木 修、大月よし子、小出清美、千野美奈、柴田さほり各委員
山田教育長、田中文化振興部長、事務局4名

進 行：田中部長

1 開 会

（部 長）令和6年度、第2回運営協議会を開会します。

2 あいさつ

（会長）秋までの行事が順調に終了したタイミングでの開催、これまでの経過報告及び来年へ向けての計画等お聞きし、皆さまからたくさんのご意見をもらえたら有り難い。

（教育長）先日の「カヤ刈り体験」へ私も参加した。信大の学生達など若い力も加わり、文化財を世代間で受け繋いでゆくことに繋がりが良かった。ふるさと学習の拠点であるふるさと館へ今年度も市外県外からも学生が来館している。さらに発信してゆくことが大切。来年度いよいよ城北小が開校となる。新小学校においても「ふるさと学習」の取り組みが必要と感じている。また、開館20年目を来年迎えるふるさと館、節目を迎えるなか、更なるふるさと学習・生涯学習を推進していきたい。

3 協議事項（進行：青木会長）

① 令和6年度事業報告

（事務局）資料に基づき説明

（進 行）質問等ありますか。

（千野委員）小学校のクラブ活動等の出張講座も含め、「火おこし体験・弓矢体験」など、昔の体験が子供たちにも人気が高い。飯山小など近場の学校はもちろん、たくさんの学校から体験学習に来てもらえば良い。昔を伝える様々な体験学習の発信基地になれば良い。また、近隣市町村等市外の学校へも呼び掛けてはいかがか。

（部 長）中高と飯水の校長会が今後一つになるとき。そういったところでも紹介する機会を設け、発信していければと思う。

（千野委員）校長会で配布できるチラシ等があれば尚よい。こちらからも広めていきたい。

（会 長）近隣小学校で、「寺めぐり」に併せふるさと館に立ち寄ると聞いている。校長会はもちろんだが、先生同士の口コミの効果も大きいと感じる。

ところで、市内の学校が統合になると、クラブ活動が大人数になるのでは。その辺はどうか？

(係 長) 対応はできる限りしていきたいが、来館の場合には施設の広さの関係、出張の場合は職員体制のこともあり、ケースバイケースで学校と相談してゆくことになると思う。統合の場合、クラブ員の人数も増える？

(千野委員) 確かに子どもの人数は増えるが、開設するクラブも増える予定なので、ひとつのクラブの人数としてはそう変わらないと想定している。一回に対応可能な人数もあると思うので。

(部 長) 市民学芸員の皆さんと行くことも考えている。

(会 長) 引き続き対応をお願いしたい。他にはいかが？

(部 長) 資料４ページの市外の学校関係にて、観光局を通じて多人数来館頂き有難く思っている。ぜひ、仲立ちとなっている観光局からの観点で、何かふるさと館への提言やアドバイス、ご意見を。

(柴田委員) ふるさと館は学校側からとても好評。体験の際の費用をかなり抑えて頂いているのも有難いようだ。逆に質問だが、大型バスの駐車に関してご迷惑はなかったか？

(事務局) 大丈夫です。事前に場所を確保することも可能だが、大きな行事と重ならない限り大型バス数台ほどなら駐車は可能。今後ご利用いただければ。

(柴田委員) ありがとうございます。来年ももう予約が入り始めているので宜しくお願いしたい。

(部 長) 入館料・体験料が安いことが魅力？

(柴田委員) はい。あと、飯山へ来て、ジップライン・ラフティング等のアクティビティやブナ林散策など様々な体験がひとつのエリアでできることも魅力とのこと。

(会 長) 府中市小学校からの来館が多いが、きっかけは？

(柴田委員) コロナ等により修学旅行先の見直しを迫られるなか、茅野市や飯山市がその行先候補に浮上した経緯があるとみられる。特別に協定締結などはないと思う。

(会 長) 令和３年１２月の３館共通入館数が非常に多いのはなぜか？

(事務局) 本来の来館は９月～１１月だったのだが、入館料の入金を確認できたのが１２月だったということから１２月の入館数に加えている。このカウント方法だと正確な入館人数が把握できないので、今、カウント方法の見直しを行っている。

(柴田委員) 戸狩の民宿グループで主にインバウンド向けに体験ワークショップの講習会を行っている。来年は市内の他のエリアの民宿さんや事業者さんも巻き込んで講習会活動を行っていかれたらと考えているとのこと。

ふるさと館の各種体験について戸狩の民宿さんでは把握している民宿もあるが、斑尾など他の地域の施設には広がっていない様子。観光事業者さん向

けのワークショップを今後何度か開催しようかと考えている。その中でこちらふるさと館についても改めて紹介していけたらと考えている。

(事務局) ふるさと館からもぜひ、よろしくお願ひしたい。インバウンド向けの勉強会はどのように行っている？

(柴田委員) 海外のお客様を増やすことが目的なので、例えば、まゆみ人形館でも日本語の案内はある程度されてはいるものの、今後外国の人々へどのように案内してゆくか検討中。また、市内の案内についても課題。

そのなかで、ふるさと館の持っているものは大変魅力的だと、先日お越しのカナダ観光局の方も仰っていた。それをどうやって伝えていったらいいのかが今後の課題かと。

(事務局) ふるさと館を知らない宿泊施設も多いか。

(柴田委員) 戸狩の民宿さん以外の宿泊施設はおそらく知らないところが多いと思う。

(会 長) 民家に眠っている古い農機具類等はもう受け入れしていない？

(係 長) 依頼があれば、まず職員が見にいき、判断している。

(事務局) 保存用・展示用が必要なので、同じものでも複数収蔵するようにしている。

② 令和7年度ふるさと館運営・活動方針及び事業計画について

(事務局) 資料に基づき説明

(会 長) インバウンド向けの情報発信は今後どのように考えているか。

(柴田委員) ふるさと館の展示説明に英語の付記があればと思う。

観光局では来年へ向けての宿泊施設を交えた話し合いを行っている。戸狩にある会社「IN TO JAPAN」のリアンさんは、インバウンドのお客さんの街中案内を行っているが、例えばリアンさんにふるさと館へ来てもらって、職員の説明付きで見学してもらい、その中で魅力ある部分をピックアップしてもらおうというのもひとつ提案したい。ガイド目線でお客さんを「ここにお連れすると満足される」と思ってもらうのが一番いい。

また「体験」、特に勾玉などの「もの作り体験」も喜ばれる。手漉き和紙工房では、カタコト英語のやり取りでも外国の方は和紙作りを楽しんでいる。そのようなことが可能なら観光局としてもPRできる。「体験したい」という外国の希望者は多い。

(館 長) 外国の方の来館目的は？

(柴田委員) 冬はスキー。かまくら体験。わりと皆さん滞在日数が長い。1週間から長くて1カ月という方もいる。そんな状況で要望が多いのが、吹雪でスキーができないとき、「なにかできるものはないか？」と。2次交通が飯山市は足りてないという問題はあるが、駅からふるさと館エリアまでは徒歩で来ることができるので、山からバス等で下りて、半日くらい市内散策したいというニーズがある。きちんとしたルートや当日対応頂けたら有難いようだ。天気次第なので当日行きたい、体験したい「今日すぐにできることは何？」と聞かれる。

例えば、ふるさと館に「いつでも、いくらでできますよ」という英語の案内（ラミネート）があると良いのでは。人数的には春から秋は冬に比べてとても少ないが、信越トレイル・小菅の奥社を歩く・戸狩の民宿に滞在し寺町を歩く・自転車进行を借りて市内を回るなど、グリーンシーズンを楽しんでいる姿がみられる。

観光局では、新幹線飯山駅に降り立ったお客さんに「半日市内ガイド無しで」と聞かれたとき、「人形館、お寺、お菓子屋さん、和紙体験工房、塩崎さんのリンゴ狩り等」をお伝えしている。スタンダードな情報をお伝えし、そこから選んでもらっている

（館 長）冬のスキー客がふるさと館へも流れてくれればありがたい。グリーンシーズンも、お一人でふらりと見えて長い時間滞在している方がいるので、今後もPRしていきたい。

（柴田委員）外に展示の唐箕や足踏み脱穀機を見るだけで海外の皆さんは喜んでいる。「自分の国にもあるよ」と。

（館 長）「ここにはこんなものがあるよ」というのをもっとお知らせすると良いのですね。「こんなものがある」「こんな体験ができる」というのがわかるA4チラシを観光案内所等に置けるよう、観光局と協力し作ってゆくのが良いと思う。

（係 長）観光局のスタンダードな案内メニューにふるさと館も混ぜてもらえれば。

（柴田委員）わかりました。

（係 長）そのためにはふるさと館も様々な体制を整えていきたいと思う。

（柴田委員）「英語勉強会」もやっている。もし興味あれば。

（部 長）毎年おひな祭りの時期にふるさと館と本町商店街が連携し、「城下町ひな街道」を開催。去年は主に集客を目的に、イベント「イングリッシュでひな祭り」を開催した。しかし集客がいまいち。単発のイベントではなく、ずっとやらないとだめか。情報発信不足もあるか？

（柴田委員）やはりいつでもやっているものの方が来館しやすい。

（事務局）常設展示では、国際交流員の方の協力によって、館内英語表記をすすめ、英語版パンフレットを作成しているが。

（柴田委員）それがあれば十分。紙ベースや案内板的なものより、来客はスタッフに説明してもらう方が喜ぶ。片言英語でいいので。ここまで来る人は地元の人たちと楽しく交流したい人が多い。来週以降案内所スタッフと参りますので打ち合わせしましょう。

（千野委員）勾玉作り等、歴史も含め作り方のビデオ等の製作を中高生の総合学習や飯山探求の時間等の学習材料として依頼したらいかか。

また、観光局のユーチューブなどで流している「飯山のいいところ」で、ふるさと館でこういうことができますよと、中高生が英語で案内するような取り組みも発展的で良いと思う。たまたま今年城北中学校の文化祭に行った際、総合学習の一環として「飯山へ人を呼び込もう」という発表があった。そんなところへも呼び掛けてみたら？

（柴田委員）今年、飯山小学校の取り組みで、観光局のプロモーション室と連携し児童

が日本語と英語で作った飯山のPRを、外国人の多い時期にSNSを使うことへ繋げる取り組みもあったと思う。

(会 長) 友の会研修で秋に行った和田宿の本陣は、たしか地元中学生が案内マイスターとして案内人をやっている場所と聞く。ところで、市内への移住者として外国の方が増えてきたなと感じている。

(柴田委員) これからも増えていくと思う。住んでもらい地元の行事にも参加し、またふるさと館はじめ生涯学習の分野にもお力を貸していただけたら良い。

(大月委員) あちこちの美術館などへ出かけると音声案内を見かける。自分の興味のある分野のみを聴くこともでき便利。そのようなものを置くというのはいかがか。

(柴田委員) 音声だとお金がかかるが、QRコードをスマホで読み取るのだと無料で対応できる。

(大月委員) 案内がないときでも、「おや？これは何だろう」というとき、QRコードを読み取るだけで知ることができたら良い。

(係 長) QRコードがつながったリンク先を用意することが大切。

(大月委員) 中学生等子ども達の方が得意かも。

(会 長) さまざまな情報発信を考えていければいい。他にはいかがか。

(柴田委員) 土偶と埴輪の違いは？

(館 長) 縄文時代に作られる人形が土偶、古墳時代のものが埴輪。

(柴田委員) 埴輪が今人気と聞く。

(館 長) 奥信濃の土偶は八ヶ岳などに比べると貧弱に見えるが土偶には変わらない。飯山は古墳の発掘を行ってないので埴輪は見つかっていない。

③ ふるさと館入館料について

(事務局) 資料に基づき説明

(進 行) ぜひご意見を。

(柴田委員) 光熱費や人件費も上がっていく中、今後値上げを視野に入れていくのは妥当。タイミングをみて進めていくのは良いと思う。

(千野委員) 学校は減免して頂いているので助かっている。個人的にはたとえ300円を払ったとしてもまた来たいと思わせる施設であれば人々も来てくれると思う。

(事務局) 頂いた意見を参考にすすめていきたい。

4 その他

5 閉 会

(部 長) それでは、これで第2回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。